

職員による自己評価

A環境面

- ・人数に対して、指導訓練室が狭い。
- ・定期的に清掃、修繕を行っている。

B児童への支援内容

- ・個々に見合った支援計画書を作成し、対応している。
- ・1日に3回ミーティング実施し、情報共有に努めている。
- ・外部研修が少なく、機会を増やしてほしい。

C関係機関との連携

- ・各学校や相談事業所とは、情報交換出来ているが、近隣の方々との交流は出来ていない。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・日々の活動を写真とともにホームページに掲載されている。
- ・送迎時や面談、連絡帳で保護者へ活動の報告を行っている。

E非常対応

- ・マニュアル等は、書類作成及び配布、掲示を行っている。
- ・避難訓練については、年2回実施している。

保護者による評価

A環境面

- ・活動スペースが少し狭いと感じる。
- ・クールダウンが出来るような別部屋がもっとあると良い。

B児童への支援内容

- ・コロナウイルスの影響で外出レクリエーションが少ない中、室内で楽しめるイベントの工夫がされている。
- ・個々に合わせた課題を用意し、沢山挑戦して下さる為、助かっている。

C事業所からの情報発信

- ・ご利用の送迎時には、その日の様子や出来事を詳しく報告して下さる。
- ・面談等でも親身になって聞いてくれている。
- ・保護者会の開催をしていただきたい。

D非常対応

- ・避難訓練は、当日のホームページや連絡帳で確認出来ている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペースが狭いとの声が上がっている。
- ・送迎時や面談等で活動の報告をしている事で安心できる環境を提供している。
- ・ホームページのブログを確認していただきおり、タイムリーに取り組みを把握出来ている。
- ・療育や休日のレクリエーションが好評であり、満足していただいている。

【相違点】

- ・外部研修を受けたりし、専門性を高めていきたいと考えている。
- ・週ごとに療育やレクリエーションを変更して実施しているが、ワンパターン化しないよう再検討、再確認が必要と考えられる。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・送迎時や面談、電話連絡などで保護者との連携をしっかりととることが出来ている。
- ・各児童に見合った支援を取り入れている。
- ・ミーティングや店舗会議を行うことで、職員同士の情報共有がしっかりとされている。
- ・療育やレクリエーションを豊富に揃え、取り組んでいる。

事業所の改善点

- ・活動スペースの確保を行う。
- ・近隣の方々との接点を増やす。
- ・保護者同士の連携が取れるような場を設ける。
- ・非常時や災害時の準備やシュミレーションを定期的に行う。
- ・療育やレクリエーションの質を上げる。

事業所の改善への取り組み

- ・活動スペースの拡張→有効活用する為に、常に整理整頓を心掛ける。
- ・近隣の方々との関わり→営業活動の強化や地域の行事へ参加をする。
- ・保護者同士の連携→保護者会や保護者が参加出来るようなイベントを設ける。
- ・非常時の対応→避難訓練以外で災害時の対応を職員間で共有し、シュミレーションを行う。
- ・療育の質の向上→外部研修を積極的に受けていき、専門性を高めていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

自己評価表を通して、沢山のご意見を頂くことで質の向上に繋がっております。支援に関しては、保護者の方々から沢山の暖かいお言葉をいただき、大変満足していただいております。これからもご家族が安心して、児童が楽しめる事業所を目指していきたく思います。職員一同、日々改善が出来るよう努めて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。